

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <http://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

備前化成株式会社 三澤 嘉久

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、協議会の主要な行事である公開講演会が中止となりましたが、会員限定で「第1回 DHA・EPA 協議会オンラインセミナー」が、10月28日(水)、29日(木)に開催されました。国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター センター長 國澤淳先生に「生体防衛システムとしての免疫の働きと栄養の重要性」のタイトルで講演いただきました。

國澤先生は、食事より摂取する栄養について、免疫の観点で最先端の研究をされています。今回のセミナーでは、ビタミン B₁ 欠乏により免疫機能が減弱するデータを示され、免疫機能を維持する食事としてビタミン B₁ を多く含むうなぎ、豚肉等と、ビタミン B₁ の吸収をよくするため、アリシンを含むにんにく、玉ねぎ等の摂取を推奨されました。

食用油の免疫への影響についても報告がありました。腸管内で、アラキドン酸由来のロイコトリエン B₄ が腸内細菌依存的な IgA 産生細胞を増殖することで抗体産生を促進し、腸管での生体防衛を担っていると報告がありました。

COVID-19 に対しては、過剰な免疫の活性化が、COVID-19 による急性呼吸窮迫症候群の原因となり、抗炎症薬デキサメタゾンがコロナ治療薬として承認されている事例の紹介がありました。その流れで、 ω 3 脂肪酸の抗アレルギー・抗炎症効果として、EPA 由来の代謝物である 17,18-EpETE が食物アレルギーの症状軽減効果、接触皮膚炎抑制効果があること、DPA 由来の 14-HDPA が乳幼児アレルギーを低減する報告がありました。

ω 3 脂肪酸の抗炎症効果の COVID-19 に対する過剰な免疫に対する対処の可能性を感じました。

DHA・EPA 協議会として初めてのオンラインセミナーでしたが、無事終了しました。開催に至るまでの準備等、事務局の方々のご尽力に感謝いたします。次回、開催も楽しみにしています。

〈幹事会のごき〉 令和2年10月9日(金)に開催された本年度第6回幹事会は新型コロナウイルス感染予防対策の観点から、ZoomによるWeb会議とした。

- ・第1回 DHA・EPA 協議会オンラインセミナーに関わるタイムスケジュールを決定し、実施の詳細を検討した。
- ・第24回通常総会について検討し、コロナ禍の状況にもよるが例年通り、会場を借りて開催する方向で検討することにした。懇親会については、結論を保留にした。総会の日程については、決まりましたら改めて連絡を差し上げます。

〈2020年9月の魚油の輸入〉

出典:財務省貿易統計

2020年9月			2020年1月~9月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
1,856	356,145	191.9	15,383	3,318,304	215.7

〈魚油の国際価格〉 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2020年9月	2020年8月	2019年9月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	1,800	1,800	1,719

〈情報〉チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2020年第43週	2020年第42週	2020年計(第43週まで)	2019年計(第43週まで)
チリ	18,475	18,066	1,323,575	1,386,222
ペルー	0	0	2,378,718	2,446,151

ペルー政府は11月12日から北部・中部のアンチヨビー漁(漁獲枠278万トン、昨年278.6万トン)を解禁した。